



D棟（メディアセンター）（改修後）
撮影：GlassEye 海老原一巳

CONCEPT

工事後 30 年以上の使用を想定した 長寿命化改修工事

本工事は、中学校のフルリノベーション改修として、今後 30 年以上の使用を目的とした長寿命化改修です。約 3 年に渡るステップ工事を実施しており、全体を大きく 3 つの工期に分けたうちの第 1 期工事が完了しました。仮設校舎を建設し、順次引越しを行いながら居ながら工事を実施しています。

長寿命化改修として、ペアガラス化を含む断熱改修・防水改修など建築的な面だけでなく、ほぼすべての設備を更新するスケルトン改修を実施しています。さらに、バリアフリー化を実現する増築も行い、増築・既存が効果的に組み合わせることで、多様な学習形態への対応を実現しています。

「学び 友情 想い出」の心がつながる ちえの「わ」

既存の A・B・C・D・体育館棟を回遊的につなぐ D 棟増築部が本計画の核です。D 棟既存部（旧技術室）と増築部はともに学びの拠点となる「メディアセンター」として整備し、自発的な学びを促す空間としました。囲われた中庭は回遊性のある増築部と一体的な空間となり生徒同士がつながりを育む場となります（中庭は第 2 期工事）。



A 棟廊下（改修後）
撮影：GlassEye 海老原一巳



A 棟廊下（改修後）
撮影：GlassEye 海老原一巳



D 棟（技術室）（改修前）
撮影：GlassEye 海老原一巳

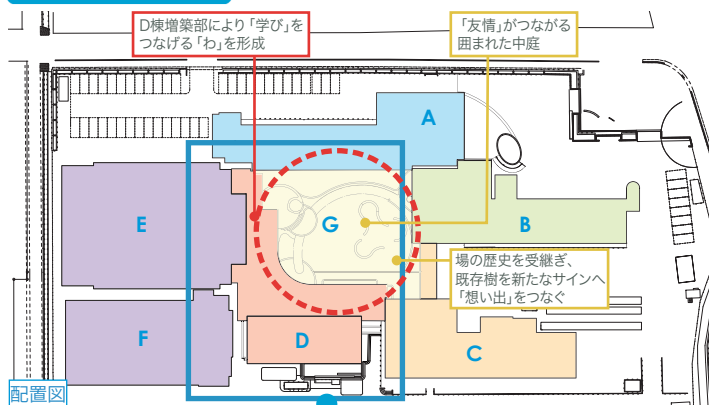


D 棟（メディアセンター）（改修後）
撮影：GlassEye 海老原一巳



北西側外観（改修後）
撮影：GlassEye 海老原一巳

PLAN



- A 棟：普通教室棟
- B 棟：特別教室棟
- C 棟：普通教室棟
- D 棟：メディアセンター
- E 棟：体育館棟
- F 棟：プール棟
- G 棟：中庭

DATA

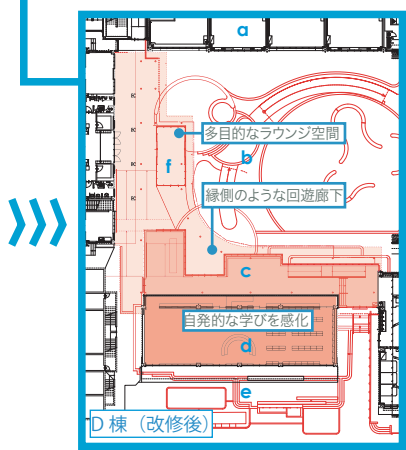
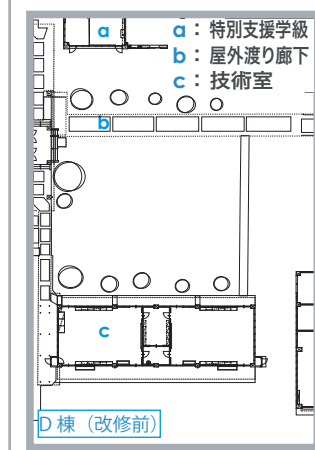
敷地面積	32,848.63㎡
建築面積	5,810.70㎡
延床面積	11,436.06㎡
建ぺい率	17.68%
容積率	34.55%
構造・規模	S造、RC造／地上 4 階
最高高さ	15.69m
軒高	15.01m
階高	4.93m（1 階） 3.60m（2 階～4 階） 3.55m（PH 階）
天井高さ	3.59m（1 階） 2.60m（2 階～PH 階）
主なスパン	8m × 8.5m
設計期間	2023.04.28 ～ 2024.03.22
工事期間	2024.10.02 ～ 2028.03.14(予定)

TOPICS

建築・電気・機械が整理された 空間構成

既存の A 棟普通教室棟では、改修により露出するダクトを活かし、天井あらかわしの空間としました。設備ラックを意匠としてデザインすることで、露出したダクトによる高さ方向の圧迫感を感じさせない設えとしています。教室と廊下の間仕切りにはガラスパーティションを採用し、明るく・水平的な空間の広がりも感じることが出来る設えとしています。

▶ <http://www.nissoken.co.jp>



- a：特別支援学級
- b：中庭
- c：ラーニングスペース
- d：メディアセンター
- e：テラス
- f：交流ラウンジ